

# 2019 鈴鹿・近畿選手権シリーズ第5戦 鈴鹿サンデーロードレース RACE REPORT

## ■開催概要

- シリーズ名称 : 2019鈴鹿・近畿選手権シリーズ第5戦 鈴鹿サンデーロードレース  
同日開催：2019 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ最終戦  
第51回 MFJグランプリ スーパーバイクレースin 鈴鹿  
2019 MFJカップ JP250選手権 第6戦
- 主催 : 株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット
- 会場 : 鈴鹿サーキット国際レーシングコース・フルコース(5.821km)
- 参加台数 : 総参加台数/50台  
CBR250RR Dream Cup .....25台  
CBR250R Dream Cupエキスパートクラス .....25台
- 開催日 : 2019年11月2日(土)
- 天候/路面 : 快晴/ドライ

## ★次回レース予定

2019 鈴鹿・近畿選手権シリーズ最終戦

第55回NGKスパークプラグ杯 鈴鹿サンデーロードレース

併催:CBR250RR Dream Cup DUNLOP杯 グランドチャンピオンシップ2019

HRC NSF250R Challengeグランドチャンピオンシップ2019

■開催日/2019年11月30日(土)、12月1日(日)

■会場/鈴鹿サーキット国際レーシングコース・フルコース(5.821km)

■開催クラス/ インターJSB1000・ST600・J-GP3・JP250/ナショナルJSB1000・ST600・J-GP3・JP250  
ST600R(Revival)

CBR250RR Dream Cup DUNLOP杯 グランドチャンピオンシップ2019

HRC NSF250R Challengeグランドチャンピオンシップ2019

★レースリザルトは、インターネットでご覧いただけます。

リザルトページ [https://www.suzukacircuit.jp/result\\_s/](https://www.suzukacircuit.jp/result_s/)

★レース写真は、バトルファクトリー様のHPでご購入いただけます。

バトルファクトリーHP <http://www.battle.co.jp/>



# 絶好のバイクシーズンが到来! 全日本選手権やMFJカップJP250と併催され、 いつも以上に盛り上がった鈴鹿サンデー第5戦

いよいよシーズンも終盤。そんな中で行われた鈴鹿サンデーロードレース第5戦は、2019 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ最終戦「第51回 MFJグランプリ スーパーバイクレースin 鈴鹿」、「2019 MFJカップ JP250選手権 第6戦」の併催で行われ、見どころが多いレースとなった。

舞台は国際レーシングコース・フルコース。今回は「CBR250R Dream Cupエキスパートクラス(以下:CBR250R)」と「CBR250RR Dream Cup(以下:CBR250RR)」の混走レースが開催された。土曜日の朝一番に20分間による公式予選が行われ、さらに午後からは8週の決勝レースが開催された。

スリップストリームを使って引っ張り合いながら各車が走行した予選では、CBR250RR・ランキング2位である森真がタイムアタックを開始。1周目に2分36秒991をマーク。同ランキング3位の鈴木悠大が37秒732をマークしてそれに続く。次のラップでは森が35秒974をマークしてコースレコードを更新。CBR250RRの岡田純一がそのタイムを上回り自己ベストを更新するが、同じくCBR250RRの大窪征文が35秒318をマークしてレコードをさらに更新。しかし、最後の最後で鈴木がそれらのタイムを大幅に上回る33秒747をマーク。従来の36秒635を3秒近く短縮する驚異的なコースレコード樹立となった。また、CBR250Rでは藤村太磯が40秒766をマークしてカテゴリートップとなった。

午後の決勝では徐々に単独トップとなった鈴木がトップチェッカー。その鈴木がCBR250RRのシリーズチャンピオンに逆転で輝いた。また、CBR250Rでは藤村太磯が優勝。辻野訓史がシリーズチャンピオンを決めた。

次回はついに最終戦。残る全ての鈴鹿選手権のカテゴリーでシリーズチャンピオンが決まるほか、「CBR250RR Dream Cup」、「HRC NSF250R Challenge」の「グランドチャンピオンシップ2019」も開催される。今年最後のレースでどんなバトルが展開されるのか、今から楽しみだ。



### ■CBR250R Dream Cupエキスパートクラス ／CBR250RR Dream Cup

ポールポジションからスタートした鈴木悠大が良いラッチミートを披露してホールショットをゲット。2番グリッドスタートの大窪柊文がオープニングラップのヘアピンで鈴木をパスするが、すぐに鈴木がトップに返り咲く。西ストレートでは鈴木、大窪、3番グリッドスタートの森真がスリーワイド状態に。鈴木、森、大窪のオーダーでオープニングラップを帰ってくる。2周目にはCBR250RR Dream Cupポイントリーダーの梶山采千夏がマシントラブルのためピットに戻ってしまう。鈴木が一時的に頭ひとつ抜け出すことに成功するが、再び森、大窪との3台がトップ集団となる。徐々に鈴木が単独状態に。

その若干後方で森と大窪がバトルを続ける。単独トップの座をキープした鈴木が総合優勝を飾るとともにCBR250RR Dream Cupのウィナーに輝いた。CBR250R Dream Cupエキスパートクラスを制したのは総合13位の藤村太磯だった。



CBR250RR Dream Cup表彰式  
(優勝：鈴木悠大、2位：大窪柊文、3位：瀬古直樹)



CBR250R Dream Cupエキスパートクラス表彰式  
(優勝：藤村太磯、2位：辻野訓史、3位：上江洲葵要)

Voice  
of  
Pick up  
Riders  
-SUNDAY EDITION-

この日、キラリと光った  
ライダーに一问一答

この日、キラリと光ったライダーに一问一答  
「Voice of Pick up Rider -SUNDAY EDITION-」

CBR250RR Dream Cupで優勝！

鈴木 悠大 選手(15歳)  
(Grip!! / ホンダCBR250RR)



**Q.公式予選で圧倒的なタイムをマークしてコースレコードも更新。2番手にも1秒5以上のタイムギャップを築きました。**

A.路面温度も高くなかったですし、湿度も低く、タイムが出る条件が揃っていたんだと思います。身体も好調でした。いつも通り攻めましたが、思っていた通りのタイムが出ました。

**Q.決勝レースでは徐々に単独トップになりましたね。集団を引き離してからはどんなことを考えて走りましたか。**

A.できるだけ同じペースをキープすることに気を配るようにしました。集中力が切れそうになったりもしましたが、2分35秒台、36秒台をキープできたので良いペースだったと思います。

**Q.鈴鹿のチャンピオンとして日本一決定戦の「グランドチャンピオンシップ2019」に挑むことになりましたね。**

A.今回参戦しなかった田中風如選手とバトルになるような気がします。今回に続いて勝ち、日本一になりたいです。